

納めていただいた税金等の使い道をお知らせします 令和5年度上半期の財政状況

問財政課 ☎922-0761 ☎922-1294

令和5年度上半期(4~9月)の財政状況を公表します(9/30現在)。各図表中の数字は四捨五入しているため、合計額などと一致しないことがあります。

一般会計 民生費や土木費など、市民の皆さんの暮らしに身近な業務を行うための会計

歳入

予算現額 962.1億円
収入済額 438.7億円(収入率45.6%)

歳出

予算現額 962.1億円
執行済額 378.7億円(執行率39.4%)

■収入済額 () は収入率

市税	219.4億円 (57.8%)	皆さんに納めていただいた市民税・固定資産税など
国庫支出金	71.7億円 (37.9%)	国から支出された負担金や補助金など
繰越金	57.5億円 (80.7%)	令和4年度から繰り越されたお金
地方消費税交付金	30.7億円 (51.2%)	地方消費税の一部を各市町村に案分し、交付されたお金
地方交付税	27億円 (68%)	市が一定水準の事務を行うために国から交付されたお金
その他	32.4億円 (14.6%)	県支出金、公共施設の利用料など

■執行済額 () 内は執行率

民生費	180億円 (40.6%)	子どもや高齢者、障がい者などの福祉・社会保障に係る経費
総務費	55.9億円 (36.2%)	庁舎管理、市税の賦課徴収、戸籍の管理などに係る経費
土木費	38.8億円 (34.1%)	道路、河川、公園、区画整理などに係る経費
衛生費	30億円 (38.8%)	予防接種、ごみ処理などに係る経費
教育費	21.2億円 (38%)	小・中学校の教育、公民館、図書館などに係る経費
その他	52.8億円 (44.9%)	公債費、消防費、商工費など

特別会計 保険料など特定の事業収入で運営する事業の会計

単位:円 ()内は%

特別会計名	予算現額	収入済額	収入率	執行済額	執行率
新田西部(※1)	6942万	1954万	(28.1)	2771万	(39.9)
駐車場事業	1億9138万	4087万	(21.4)	1657万	(8.7)
新田駅西口(※2)	24億3045万	1億4531万	(6.0)	2億4262万	(10.0)
国民健康保険	228億6989万	89億2136万	(39.0)	100億1864万	(43.8)
介護保険	191億 933万	88億5384万	(46.3)	72億6194万	(38.0)
後期高齢者医療	35億2413万	12億1064万	(34.4)	10億2110万	(29.0)
合計	481億9460万	191億9156万	(39.8)	185億8858万	(38.6)

※1 新田西部土地区画整理事業 ※2 新田駅西口土地区画整理事業

企業会計 民間企業と同様に事業収益で運営する事業の会計

単位:円

区分	水道事業		病院事業		公共下水道事業	
	収益的収支	資本的収支	収益的収支	資本的収支	収益的収支	資本的収支
収入	22億8325万	1億1178万	68億3665万	109万	22億5024万	1億7941万
支出	19億3889万	5億5929万	60億2770万	4億6934万	23億2330万	15億5260万
収支	3億4436万	△4億4751万	8億 895万	△4億6825万	△7306万	△13億7319万

収益的収支…事業活動における収支 資本的収支…設備投資における収支

令和6年4月採用 職員を募集

問職員課 ☎922-0983 ☎922-3098



新規採用職員を募集します。採用日は令和6年4/1。詳細は市HP(QRコード)で確認を。

■募集職種 事務(大学卒、社会人経験者)、土木技師(大学卒、社会人経験者)、建築技師(大学卒、社会人経験者、一級建築士、建築基準適合判定資格者)、電気技師(大学卒、社会人経験者)、福祉(社会福祉士、社会福祉主事)、保健師、看護師、事務(障がい者)

■第1次試験 日1/7 場獨協大学 申12/15 までに電子申請で。

市議会12月定例会が開会します

問庶務課 ☎922-0969 ☎922-3091

- 12/7(日)に開会。市長提出議案は25議案。主な議案は次のとおり。
- 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定…国民健康保険税の賦課限度額の改定、及び出産する被保険者の産前産後期間の同税の軽減措置を新設しようとする議案。
 - 子育て支援センター設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定…4/1から子育て支援センター内に「こども家庭センター」を設置し、妊産婦、子育て世帯と子どもへの包括的な支援を行うため、同支援センターの事業などの見直しをしようとする議案。
 - 令和5年度草加市一般会計補正予算(第6号)

やさしい「思い」がつながりへ
ゆるりコラム ⑬

皆さまこんにちは。今回の一面ではフードドライブという取り組みを特集しています。ご家庭で余っている食品を集め、地域の福祉団体やフードバンクなどを通じて、子ども食堂や必要とされる人へ提供される活動であり、また、食品ロスの削減にもつながる取り組みです。草加市では、食品の寄付を受け入れる専用ボックスを市内公共施設に配置しています。また、先進的な取り組みの一つとして市内には「コミュニティフリッジ」があります。これは経済的に困窮している子育て世帯が、利用登録を行うことで、

食品や日用品を24時間いつでも受け取ることができる仕組みです。詳しくは日本フードリカバリー協会のホームページでも紹介していますので、ぜひご覧ください。

市民の皆さまの思いが、互いの心に残り、別の機会では、「思い」を受け取った人が、行動する側になっている、そんなやさしさが循環する仕組みです。こうした気持ちは、間違いなく私たちのまちを強くしてくれるはずです。



▲日本フードリカバリー協会HP



市長コラム